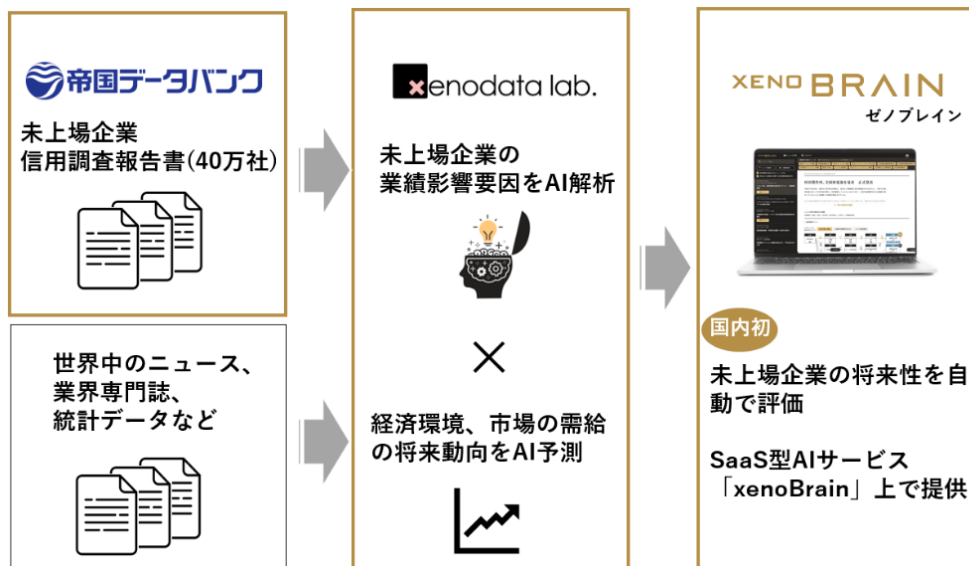


経済予測専門のクラウドサービス「xenoBrain」、  
国内初、未上場企業 40 万社の将来性を AI が予測する新機能を追加  
～帝国データバンクの信用調査報告書を解析、成長性を自動評価で企業分析を効率化～

経済予測専門のクラウドサービス「xenoBrain（ゼノブレイン）」を提供する株式会社 xenodata lab.（本社：東京都渋谷区、代表取締役：関洋二郎、以下「ゼノデータ・ラボ」）は、本日、xenoBrain の新機能として、国内の未上場企業 40 万社の業績予測機能をリリースいたしました。AI が未上場企業の今後 5 年以内の成長性を自動評価することで、企業は、それまで情報が少なく手間のかかるものであった未上場企業の将来性の分析業務を効率化する事が可能となります。



▲未上場企業の業績予測の流れ

未上場企業の分析が必要とされるシーンは、取引先調査、融資、M&A など数多くありますが、上場企業と異なり財務情報などの開示が非常に少なく、また、アナリストレポートなど公表されている専門家による評価もほとんど無いため、特に市場の将来性などの外部環境を取り入れた将来性評価を行うためには今まで多くの手間やコストがかかるという課題がありました。

ゼノデータ・ラボは、今まで xenoBrain で提供してきた、ニュース解析による経済の予測データに加え、日本最大手の信用調査会社である株式会社帝国データバンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：後藤信夫、以下「TDB」）による信頼性の高い企業信用調査報告書を、自然言語処理及び機械学習をベースにした独自開発の AI で解析する事により、国内 40 万社の未上場企業について、国際情勢や技術革新などの経済状況を踏まえた将来性を AI が自動予測する国内初の機能をリリースいたしました。

■未上場企業分析機能で実現できること

## ①企業の選定（スクリーニング）

中長期（概ね5年程度の時間軸）の将来性評価をベースに、所在地などのTDB企業概要情報により、未上場企業40万社から条件に沿った企業を絞り込む事で、営業先やM&A候補企業の効率的なリストアップ、そのリストのExcelダウンロードが可能です。

## ②企業の将来性やリスク分析

約40万の未上場企業各社について、中長期の将来性を10段階評価。評価結果だけでなく、その根拠となる市場環境の変化を重要度に応じて網羅的に把握する事で、顧客や投資先の外部環境評価を効率化できます。

<分析項目>総合評価（10段階のランク評価）、カテゴリー別評価（環境問題・対策、国際情勢、国策・規制、少子高齢化、ライフスタイル、コロナ長期化、社会トレンド、技術革新）、中長期影響シナリオ分析

## ③資料の共有

企業の将来性を分析したシナリオ分析レポートを、PDFレポートとして1クリックでダウンロードし、チーム内や顧客とのディスカッション用の資料として利用可能です。

<レポート掲載項目>上記分析項目及び、同業他社分析、他各種分析

## ■各機能の詳細

### <企業のスクリーニング>

様々なスクリーニング項目により、40万社の中から効果的に企業を探すことができる機能です。

XENO BRAIN

企業 ニュース トピック 直近決算 業界 経済指標

企業検索

企業名、TDB企業コード、銘柄コード、法人番号

すべてのキーワードを含む いずれかのキーワードを含む

予測結果

帝国データバンク社のデータ項目 ※営業利益予測成長率(5年)絞り込み時のみ使用可

営業利益予測成長率(5年) 所在地 例) 横浜、港区 都道府県 業種 TDB業種 財務情報 売上高 資本金

業種 ※上場企業のみ

xeno業種 東証33業種

上場区分 ※未上場企業が対象に含まれる場合は最大表示500件

上場 未上場

検索する 検索条件をリセット

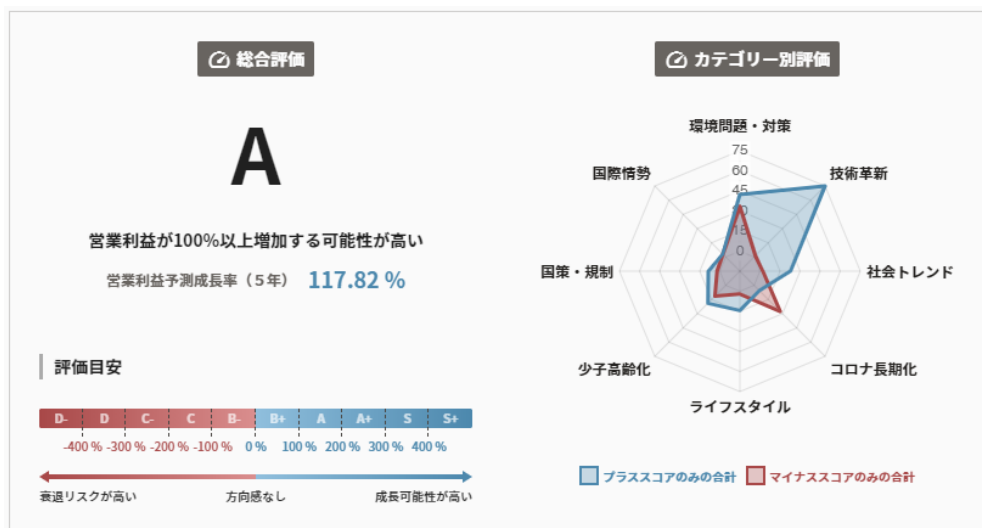
▲xenoBrain、企業スクリーニング画面（全体）



▲xenoBrain、企業スクリーニング画面（営業利益予測成長率（5年））

### <未上場企業の成長性を総合評価>

40万社の未上場企業各社をAIが評価し、営業利益予測成長率（5年）の合計値に応じてS+（成長可能性が高い）～D-（衰退リスクが高い）の10段階のランクを付与します。さらに各企業が所属する業界の平均値や、全企業中での該当企業の位置付けを表示することで、該当企業の評価をわかりやすく表示します。また、分析したシナリオを「環境問題・対策」、「国際情勢」、「国策・規制」、「少子高齢化」、「ライフスタイル」、「コロナ長期化」、「社会トレンド」、「技術革新」の8つのカテゴリに分け、レーダーチャートの形式で表示することで、どのカテゴリにおいて成長性/リスクが高いのかが直感的に理解できる機能です。



▲中長期成長性の総合評価画面

### <カテゴリ毎に細分化した分析を提供>

「環境問題・対策」、「国際情勢」、「国策・規制」、「少子高齢化」、「ライフスタイル」、「コロナ長期化」、「社会トレンド」、「技術革新」の8つのカテゴリにおいて、どのような経路を辿って企業業績にどのような影響を与えるかのシナリオを表示します。営業利益予測成長率（5年）の大小により、その企業にとって重要なシナリオが一目でわかります。

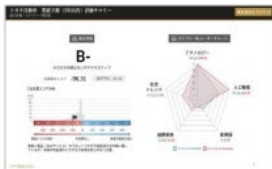
カテゴリ	中長期シナリオ	スコア合計	スコア内訳	影響経路	影響時期	影響セグメント	
<b>環境問題・対策 営業利益予測成長率 -1.70%</b>							
環境問題・対策	-1.70%	▶ 火力発電需要増加	2.03	2.03	火力発電需要増加 → 石炭需要増加 → 鉱山機械需要増加 → 鉱山車両用タイヤ需要増加	現在～5年後以降も継続	タイヤ
		▶ 平均気温4度上昇	0.05	0.05	平均気温4度上昇 → 降雨量増加 → 天然ゴム供給増加	現在～5年後以降も継続	タイヤ
		▶ 水力発電需要増加	0.03	0.03	水力発電需要増加 → 発電機需要増加 → 発電用エンジン需要増加 → 自動車用防振ゴム需要増加	3年後程度～5年後以降も継続	多角化
		▶ サークュラーエコノミー進展	0.00	0.00	サーキュラーエコノミー進展 → シェアリングエコノミー進展 → 自転車シェア需要増加 → 電動アシスト自転車需要増加	現在～5年後以降も継続	多角化
		▶ 脱炭素化	0.00	0.00	脱炭素化 → コンパクトシティ進展 → 自転車シェア需要増加 → 電動アシスト自転車需要増加	現在～5年後以降も継続	多角化
		▶ 燃料電池自動車需要増加	0.00	0.31	燃料電池自動車需要増加 → 燃料電池自動車部品需要増加 → 自動車用防振ゴム需要増加	3年後程度～5年後以降も継続	多角化
		▶ 電気自動車需要増加	0.00	0.31	電気自動車需要増加 → EV用自動車部品需要増加 → 自動車用防振ゴム需要増加	3年後程度～5年後以降も継続	多角化
		▶ 火力発電需要減少	-3.44	-3.41	火力発電需要減少 → 石炭需要減少 → 鉱山機械需要減少 → 鉱山車両用タイヤ需要減少	現在～5年後以降も継続	タイヤ
		▶ 国境炭素税導入	-0.16	-0.16	国境炭素税導入 → 石炭需要減少 → 鉱山機械需要減少 → 鉱山車両用タイヤ需要減少	現在～5年後以降も継続	タイヤ
		▶ 炭素税率引き上げ	-0.16	-0.16	炭素税率引き上げ → 石炭需要減少 → 鉱山機械需要減少 → 鉱山車両用タイヤ需要減少	3年後程度～5年後以降も継続	タイヤ
		▶ CO2削減需要増加	-0.06	-0.06	CO2削減需要増加 → ガソリン車需要減少 → ガソリン車用自動車部品需要減少 → 自動車用防振ゴム需要減少	現在～5年後以降も継続	多角化
<b>国際情勢 営業利益予測成長率 -5.62%</b>							
米国・中国	-6.76%	▶ 米中対立激化	-6.56	-6.56	米中対立激化 → 対米関税引き上げ → 米国現地法人生産減少	現在～3年後程度	タイヤ
		▶ 欧中对立激化	-0.20	-0.20	欧中对立激化 → 対欧関税引き上げ → 欧州現地法人生産減少	現在～3年後程度	タイヤ
アジア太平洋	1.27%	▶ 一帯一路構想加速	1.28	1.28	一帯一路構想加速 → 建設工事需要増加 → 建設機械需要増加 → 建設車両用タイヤ需要増加	現在～5年後以降も継続	タイヤ
		▶ RCEP発効	0.03	0.03	RCEP発効 → 日本製タイヤ輸入増加	現在～5年後以降も継続	タイヤ
		▶ 香港国家安全維持法施行	-0.04	-0.04	香港国家安全維持法施行 → 欧中对立激化 → 対欧関税引き上げ → 欧州現地法人生産減少	現在～5年後以降も継続	タイヤ

▲カテゴリ毎の評価画面

<レポートによる詳細分析>

画面で表示した分析に加え、さらに詳細な分析を追加した PDF レポートを 1 クリックでダウンロード可能です。

総合評価・カテゴリ別評価



画面に表示している総合評価及びカテゴリ別のレーダーチャートが収録されています。

**Point**  
総合評価を簡単に資料化！

サブカテゴリ別評価



カテゴリをさらに分解したサブカテゴリ別の評価結果の総括表が収録されています。

**Point**  
影響シナリオ全体像を簡単に資料化！

業績要因ごとにみる業績予測



企業の業績要因を列挙し、その業績要因ごとに5年以内の影響の重要度をスコアで評価した表が収録されています。

**Point**  
業績要因ごとの影響を簡単に資料化！

シナリオ一覧



xenoBrain上で1-5年後程度で企業に影響すると予測された全シナリオの一覧が収録されています。

**Point**  
全シナリオデータを簡単に資料化！

業界他社比較



同業種の他社との比較を、成長企業と衰退企業の両方向からのランキングとして比較結果が収録されています。

**Point**  
業界他社の評価結果を簡単に資料化！

サプライチェーン企業業績予測



仕入先企業、得意先企業について、成長企業と衰退企業の両方向からのランキングとして予測結果が収録されています。

**Point**  
仕入先・得意先の評価結果を簡単に資料化！

※サプライチェーン企業業績予測は上場企業のみコンテンツとなります。

■未上場企業業績予測機能の想定利用シーン

- ・ 営業、営業企画：営業先候補として、今後業績が成長するという軸でターゲットをリスト化
- ・ 経営企画：M&A 候補先の調査時に、外部環境による企業の将来性を確認する
- ・ コンサルティングファーム：顧客企業の外部環境調査を効率化し、提案数を増やす

- ・銀行の融資審査：融資先/候補企業について、事業性評価を効率的に行う

## ■分析データサンプルのダウンロード

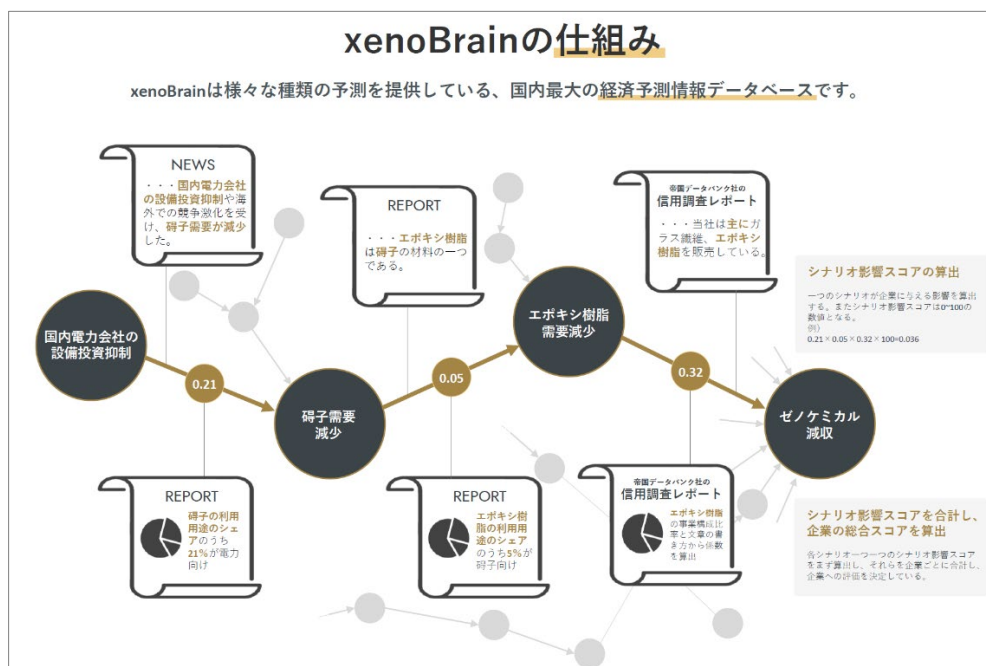
ダウンロード用 URL：<https://bit.ly/3drKZTe>

※サンプルは上場企業を表示しています。

## ■ゼノデータ・ラボの将来予測サービス「xenoBrain」概要

AI が経済ニュースや決算情報を自然言語処理技術で解析し、経済事象と経済事象の間の関連性を読み解く事で経済・企業の将来予測をリアルタイムで提供する SaaS 型 AI サービスです。今日起きたニュースから、次に起こる経済事象、将来的に影響を受ける企業を AI が瞬時に予測することで、金融機関の業務効率化、事業会社の経営意思決定のサポートを実現します。米国ダウ・ジョーンズ社や時事通信社といった大手メディア、帝国データバンク社との提携により信頼性の高い情報を収集・解析しています。

- ・提供開始（正式版）：2019 年 6 月
- ・URL: <https://service.xenobrain.jp/>



## ■ゼノデータ・ラボの会社概要

会社名：株式会社 xenodata lab.

所在地：〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-28-6 VORT 渋谷松濤レジデンス 1001

設立年月日：2016 年 2 月 12 日

代表者：代表取締役 関 洋二郎

<https://www.xenodata-lab.com/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 xenodata lab.

広報担当 北口 万里子

Email：[pr@xenodata-lab.com](mailto:pr@xenodata-lab.com)